

合唱団 senza Nome 20年記念演奏会

◆T.L. ビクトリア合唱作品集

Regina caeli / Ave regina caelorum
Surrexit pastor bonus

◆現代宗教合唱作品集

O magnum mysterium (N. White)
Jubilate Deo / O magnum mysterium (S. Wawer)
Ubi caritas (O. Gjeilo)

◆無伴奏混声四部合唱のための

「思い切って石を投げよう あなたの池に」【委嘱初演】

作詩 谷川俊太郎 作曲 川崎 智徳

◆無伴奏混声合唱のための「木にたずねよ」【委嘱初演】

作詩 和合亮一 作曲 後藤 丹

2016年7月31日 (日) 開場 13:30 開演 14:00

だいしホール

(第四銀行本店内 JR新潟駅より車で5分
新潟駅万代口よりバスで「古町」行き「本町」下車 徒歩1分)

全席自由 一般 2,000円 / 学生 1,000円 / 高校生以下 500円

指揮 **仁階堂 孝**

朗読 **和合 亮一**

(ビデオメッセージ放映)

■お問合せ 090-1451-3973 (渡部)

チケット取り扱い: コンチェルト/新潟伊勢丹/
ヤマハミュージックリテイリング (株)

E-mail: info@senzanome.sakuraweb.com

HP: <http://senzanome.sakura.ne.jp/>

後援: JCDA日本合唱指揮者協会

口ずさめば、そのまま歌になりそうなさまざまな74篇の詩。指揮者の仁階堂さんに勧められて和合亮一さんの詩集「木にたずねよ」を開いたとき、まるで宝物に満ちた洞窟に招き入れられたような気分を味わいました。そこでは世の中のすべての目に見えるもの見えないものが木々の姿に託され、美しい言葉となって並んでいるように思います。全体に一本貫かれている透明な悲しみは、やはり福島での3.11以降の記憶に由来するのでしょうか。

私の作曲とは音楽の力を信じ、この本の詩のいくつかを、一群の人々がリズムとハーモニーを伴って朗読するための設計図を描くことでした。コンサート当日にはステージ上に音によるささやかな森が出現することでしょう。共感していただければ幸いです。

後藤 丹



作曲家 後藤 丹 (ごとう まこと)

新潟市出身。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院修士課程修了。主な作品に、混声合唱組曲《気球の上る日》(音楽之友社刊)、連作歌曲集《この世界のぜんぶ》(日本作曲家協議会刊)、混声合唱組曲《みまかれる美しきひとに》(全音楽譜出版社刊)、わらべ歌によるパラフレーズ《遊びをせむとや生まれけむ》(全音ピアノピースNo.549)等。また、バッハの《カノン》、チャイコフスキーの《くるみ割り人形》連弾版、等、百曲を越える編曲が全音楽譜出版社から刊行されているほか、「祈りのパッサカリア」、「おいしいピアノレシピ・フルコース」など音楽解説執筆の仕事も多い。現在、上越教育大学大学院教授、日本作曲家協議会会員。

東日本大震災以降、音楽を通して自分にできることは何かを考えていますが、その中で生まれた組曲のひとつが、無伴奏混声四部合唱のための《思い切って石を投げよう あなたの池に》です。あの日、何の被害も受けなかった自分に、被災地の、被災した方々の何が解るのか。いや、きっと解り得ない。しかし大切なのは、必ずしも「解る」ことではなく、解ろうと努めること、考え続けることではないか、そう思うようになりました。そして、人の「こころ」について考えることをテーマとした、この組曲が生まれました。

自分も団員の一人として、この20年間、senza Nomeの皆さん、そして仁階堂さんとともに活動してきましたが、《生きているということ》に引き続き、この組曲を演奏していただけることは何事にも代え難い大きな喜びであり、感謝の気持ちで一杯です。仲間たちとともに、音楽を通して聴いてくださる皆さんに爽やかな風をお届けできれば、そう思っています。

川崎 智徳



作曲家 川崎 智徳 (かわさき ともりの)

上越教育大学卒業、同大学院修了。作曲を故・柳澤剛、後藤丹、阿部亮太郎の各氏に師事。2009年、仁階堂孝氏の指揮、合唱団senza Nomeの演奏により無伴奏混声合唱組曲《生きているということ》(詩：谷川俊太郎、音楽之友社刊)を、15年、佐藤匠氏の指揮、新潟大医学部合唱団の演奏により《見舞い》(詩：谷川俊太郎)を、16年、豊田端吾氏の指揮、帯広三条高校、帯広柏葉高校、帯広第一中学校の各合唱部と合唱団consonoの合同演奏により、無伴奏女声四部合唱のための《その声はいまも》(詩：高良留美子)を発表。この他、合唱作品、編曲作品を多数発表している。現在、北海道帯広市在住。



常任指揮者 仁階堂 孝 (にかいどう たかし)

合唱指揮者。尚美学園大学兼任講師。現在、senza Nomeを始めとして10余団の合唱団の常任指揮者の他、各地でのコンクール審査員、講習会や合唱祭の講師、客演指揮者としても活躍中である。作曲家と協力しての新作の紹介にも意欲的に取り組み、これまでに後藤丹、川崎智徳、瑞慶覧尚子、高嶋みどり、千原英喜、信長貴富、松下耕、松永ちづる諸氏を始めとして様々な作曲家の作品の初演指揮を行っている。2003年4月にエストニアの首都タリンで行われた合唱コンペティションTallinn2003においてEnsemble Evergreenを指揮し室内合唱部門第1位を受賞した。また2014年3月にチェコ共和国プラハで行われたYOUNG 2014 PRAGUEにおいて、彩の国コンソーシウム合唱団KIRARA☆Mixedを指揮し、室内合唱部門1位に併せ、全合唱部門から選ばれたグランプリを受賞、自身も優秀指揮者賞を受賞した。

日本合唱指揮者協会理事。全日本合唱連盟国際委員。尚美学園大学合唱団、「文の京」第九合唱団、各指揮者。



合唱団 senza Nome (センツァ・ノーム)

1996年結成。新潟県長岡地区を中心として、年3~4回の合宿による活動を続ける「合宿型合唱団」で、ルネサンス作品や民謡、現代曲など様々な時代・国の曲を歌い続けている。新潟県内のほか、北海道、中部、関東から団員が集まり、これまでに70回を超える合宿を行う。3度の主催演奏会を開催。2009年には第2回演奏会において、後藤丹氏作曲「混声合唱のための『祝婚のうた』」初演、並びに、川崎智徳作曲「無伴奏混声合唱のための『生きているということ』」全曲初演を行う。2009年第25回及び2011年第27回宝塚国際室内合唱コンクールフォークロア部門にて銀賞を受賞。2013年同コンクール近現代部門で本選出場。

2016年7月31日(日) 開場 13:30 開演 14:00

だいしホール (第四銀行本店内 JR新潟駅より車で5分
新潟駅万代口よりバスで「古町」行き「本町」下車 徒歩1分)

全席自由 一般 2,000円 / 学生 1,000円 / 高校生以下 500円

■お問合せ 090-1451-3973 (渡部)
チケット取り扱い: コンチェルト/新潟伊勢丹/
ヤマハミュージックリテイリング (株)

E-mail: info@senzanome.sakuraweb.com

HP: http://senzanome.sakura.ne.jp/

後援: JCDA 日本合唱指揮者協会

